

令和 8 度 事業計画

令和 8 年 4 月 1 5 日

社会福祉法人白石ひまわり

小規模多機能型居宅介護事業計画

1. 部門方針・目標

- ・利用者が、自宅で穏やかに生活が続けられるように、通いを中心に訪問や泊りサービスを柔軟に組合せ提供する。
- ・令和8年3月現在の登録者数18名、令和9年度には20名以上での運営を目指す。
現在5名が泊り中心のサービス。週末等では宿泊9名オーバーもある。新規利用者のサービス内容を調整し、利用者一人一人の日常生活に寄り添ったサービスを提供する。
- ・介護が必要な透析患者の送迎を伴う、利用者の受け皿になっている。刈田総合病院と連携強化し、認知症や介護が必要な通院透析を支える。
- ・各種の感染対策を十分に行い、感染者を出さないよう努力する。
- ・地域密着型事業所として地域との繋がりを強化。医療や行政、他の介護事業所等との連携もはかり、信頼される事業所を目指す。
- ・ICT化による処遇改善加算などもある為、職員の情報共有ツール（情報管理ソフト）の導入を検討。事務作業の軽減や利用者の情報の共有をはかり、サービスの向上に繋げる。
- ・訪問入浴休止から、職員2名を令和8年3月から部門移動。職員採用を積極的に行いつつ、必要人員を確保する。

2. ① 職員の配置体制

管理者・計画作成者（兼務）	1名（常勤）
計画作成者・介護職員（兼務）	1名（常勤）
看護師	3名（常勤1名 非常勤2名）
介護職員	9名（常勤6名 非常勤3名）
食事準備	1名（非常勤）
送迎担当	1名（非常勤）

② 採用について・・・常時採用職員募集

③ 設備等導入計画

- ・居間のエアコン買い替え検討
- ・ケアプラン情報連携システム、小規模多機能型居宅介護情報共有ツール

4. 年間行事予定

月	行 事	月	行 事
4 月	花見、花見ドライブ	10 月	芋煮会
5 月	端午の節句	11 月	紅葉狩りドライブ
6 月	藤棚見学	12 月	クリスマス会
7 月	七夕飾り、紫陽花見学	1 月	団子さし
8 月	夏祭り	2 月	豆まき
9 月	十五夜	3 月	ひな祭り

全 部 門 共 通

1. 利用者確保

利用依頼は極力断らず、在宅サービスを支え中重度の要介護者、認知症高齢者の受入を行う。また、市内外の居宅介護支援事業所や各病院の医療との連携、情報発信し利用者の紹介に繋げる。老人居宅介護事業（訪問介護）などでは、ひとりの利用者に対し、時間で他事業者と協働で支えるサービスの入り方も受け入れ、柔軟に対応する。

2. 人材の有効活用と職場環境の改善

- 1) 必要な職員の補充がままならない状況から、訪問入浴部門の休止。職員の配置移動を行う。高齢職員の離職者も見られるが、事業継続しながら効率化をはかる。
- 2) 職員の質の向上、スキルアップを目指せる体制を作りながら、収益性を保つ。
- 3) 各部門で、ケアプランデータ連携システム導入し、ICT 化をはかることで処遇改善加算を算定。介護職員等の処遇を改善し離職を減らす。

1. 衛生管理の徹底

- ・感染対策 BCP の研修・周知し、予防知識を共有。職員、利用者が感染予防しながら、病原菌の媒介者とならないようにする。
- ・「病原菌を持ち込まない、持ち出さない」の感染症予防原則に必要なうがい、手洗い、手指の消毒を徹底する。
- ・感染症対策として、感染対策にマスクの着用、十分な手指の洗浄や消毒を行い勤務する。発熱には検温等し問題なければ出勤可。（体調不良時は管理者へ報告し対処）
- ・インフルエンザの予防接種及び健康診断の実施。

4. 経費の削減

- ・パート職員の活用。シフト調整により常勤職員への負担軽減。協力体制の構築。
- ・事務用品、消耗品などの購入は必要最小限に努める。
- ・廊下、事務室などの照明はこまめに消す。エアコンの設定温度を適切に行う。
- ・休止部門より人員移動し活用。利用者確保へ繋げる。

5. 追加設備

- ・白石市より防災用備蓄倉庫設置（福祉避難所）・小型発電機の導入検討

7. 各種会議の開催

- ① 全体会議 … 主任会議（月 1 回）
- ② 小規模多機能 … 運営推進会議（偶数月 1 回）職員会議（月 1 回）
- ③ 老人居宅介護 … 常勤会議（月 2 回）ヘルパー会議（月 1 回）
- ④ 居宅介護支援 … ケアマネ会議（月 1 回）ケース連絡会（週 1 回）

8. 共通研修の実施（外部研修・WEB 研修を含む）

人権擁護、虐待防止、感染症対策、業務継続計画、介護の生産性向上委員の開催及び訓練は、主任会議等と合同会議を開催する。